

藤樹先生に学んで・・・



大洲小学校では、五年生の子ども達とともに、キャンプなどのニューボールなどを交換しました。また地域ボランティアの方に大洲高校内

高島市青少年育成市民会議
会長 海老澤 文代
「藤樹先生をたずねて」

学生たちが来訪していることを受けて、是非一度高島市に毎年夏休みに大洲市より子どもたちと大洲市を訪ねたいと望んでいましたが、今年ようもん道場のキャンプと言葉で実現しました。

大洲市には八月六日から八日まで滞在し、国立青少年交流の家に宿泊しながら、小学生との交流や藤樹先生ゆかりの史跡めぐり、カヌー・クライミング体験、うちわづくりと楽しい体験をさせて頂きました。

よえもん道場
藤樹キャンプ
「藤樹先生をたずねて」

の至徳堂や大洲城などを案内いただき、若かりし中江藤樹先生の像などを拝見しました。

これからも、藤樹先生の教えが活きており、大洲市との交流を大切にしてゆきたいと実感した三日間でした。

藤樹先生の教えに学ぶ

マキノ南小学校長 小久保 義直

本校では六年前から北川暢子先生のご指導のもと「良知に学ぶ学習」に取組んでいます。この取組は北川先生の授業を見せていただくことと、担任の授業について指導していくただくことです。今年度は次の様に進めていきます。

【一年】	『くるまが田におちた』	(担任)
【二年】	『子どものころの藤樹さん』	(北川)
【二年】	『そばやのかんばん』	(担任)
【三年】	『「鏡草」より』	(北川)
【三年】	『おいはぎと先生』	(担任)
【四年】	『おじいさんと米子へ』	(北川)
【四年】	『馬方又左衛門』	(北川)
【五年】	『小川村でのくらし』	(北川)
【五年】	『大野了佐を教える』	(北川)
【六年】	『熊沢蕃山の入門』	(北川)
【六年】	『あかぎれこうやくの話』	(北川)
【六年】	『ふるさとの母と脱藩の道』	(北川)

高学年になると学習の積み重ねができる、『大野了佐』の授業を見て、も医師になりたい大野とそれをサポートしている藤樹先生について世代を超えて共に語り合っている。また、ふだん

は通り過ぎるだけのところを、仲間とともに、ゆっくりと景色や名所を見ながら歩き、改めて仲間の大切さを感じ取ることができました。

一年生は、十二月七日には、藤樹先生の教えを学ばれた、桜美林学園創設者である清水安三先生生物語の観劇に行きました。

又左衛門ウォーク

湖西中学校頭 浦島利昭

高島市は多くの偉大な先人が輩出された地域です。その生き方や足跡を学ぶことが、今に生きる私たちにとって重要です。湖西中学校では、地域の先人に学ぶ学習を年間通して行っています。一年生は今日まで馬方又左衛門を勉強してきました。

そのまとめとして、十一月十一日から一泊二日で又左衛門ウォークを行いました。一日目はあいにくの高島時雨のため距離を短くして、北小松から白髭神社、乙女ヶ池、大溝城通り大阪市青少年の家へと向かいました。二日目のコースは湖周道

路でこどもの国、風車村そして学校です。これまで、地域の方から、又左衛門の碑の場所で教えていただき、市内の朗読劇団の方から朗読劇を聴いたりしました。又左衛門の歩いた距離まではいきませんでしたが、二日間で二十八kmを歩き、これからの生き方につなげることができることになりました。また、ふだん見ながら歩き、改めて仲間の大切さを感じ取ることができました。

藤樹先生の教えを学ぶ

木子へ
み重ねができる、『大野了佐』の授業を見て、も医師になりたい大野とそれをサポートしている藤樹先生について世代を超えて共に語り合っている。また、ふだん

は通り過ぎるだけのところを、仲間とともに、ゆっくりと景色や名所を見ながら歩き、改めて仲間の大切さを感じ取ることができました。

一年生は、十二月七日には、藤樹先生の教えを学ばれた、桜美林学園創設者である清水安三先生生物語の観劇に行きました。

一年生は、十二月七日には、藤樹先生の教えを学ばれた、桜美林学園創設者である清水安三先生生物語の観劇に行きました。